

## 7 月 26 日 : VN 指数は堅調に推移 (VN-Index +0.72%)

- VN 指数は上昇して取引を開始したが、依然として取引量は少なかった。
- 前場では石油ガス、食品飲料セクターが市場全体をけん引したが、対照的に小売りセクターの下落がその重しとなった。
- 今日の市場は各企業の 2024 年上期の業績発表に左右される展開となった。大型株数社の好調な業績の発表により指数は上昇を保ったまま取引を終えた。
- セクター別では、石油ガスセクターが堅調さを保ち、小売を除くほとんどのセクターがそれに続くように上昇した。
- 284 銘柄が上昇、129 銘柄が下落、80 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は昨日とほぼ変わらず、11.8 兆ドンとなった。

### VN30 指数も同様の動き(VN-30 +0.76%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、22 銘柄が上昇し、3 銘柄が下落、5 銘柄が変わらずであった。
- POW (+5.04%)、BCM (+4.92%)、MSN (+4.23%)が大幅に上昇した。
- 本日落したののは、VRE (-2.03%)、VHM (-0.13%)、VJC (-0.09%)の 3 銘柄のみであった。

### セクター・個別株の動き

- MSN (+4.23%)は 2024 年上期の業績を明らかにした。同社は 20.1 兆ドン（前年同期比+8%）の売上、さらに税引き後利益は 9460 億ドン（同+120%）を記録した。主要事業である小売りが好調であったこと、支払金利が減少したことが好調な業績の要因であった。
- VGC (-1.11%)2024 年上期の業績を明らかにした。同社は 5.3 兆ドン（前年同期比-20%）の売上、税引き後利益は 4080 億ドン（同-47%）を記録した。
- 外国人投資家は 3,910 億ドンの買い越し。KDC (+3.20%)が最も買い越された一方で、DGC (-1.98%)が最も売り越された。

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。